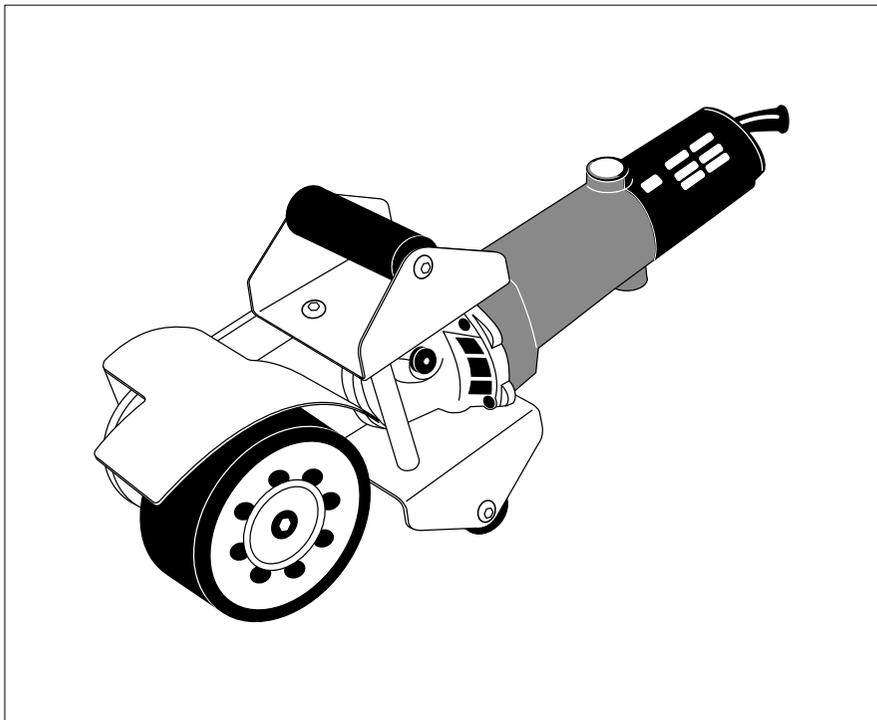




ローラーサンダー

High Roller

GMC-HR-GT1A 取扱説明書



このたびは、ローラーサンダー「ハイローラー」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機的能力、使用方法等十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

安全上のご注意

- 火災、感電、けが等の事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
 - ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「警告」と「注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
 - ⚠警告：誤った取扱いをした時に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
 - ⚠注意：誤った取扱いをした時に、使用者が傷害を負う可能性が想定される、及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
- なお、「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 「警告」・「注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンス等に関する重要な注意事項は「⚠」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。
 - 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。
 - お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。
 - 他の人に貸出す場合は、取扱説明書も一緒にお渡しください。

⚠ 警告

① 作業環境

1. 作業場は、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因となります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。

② 電気に関する安全事項

1. 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。
 - ・ 電源プラグを改造したり、アースした電動工具と一緒にアダプタプラグを使用したりしないでください。
 - ・ 改造していない電源プラグと適切な電源コンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. パイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠等アースされているものに身体を接触させないようにしてください。

- ・ 感電するおそれがあります。
- 3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したりしないでください。**
- ・ 電動工具内部に水が入り、感電するおそれがあります。
 - ・ 感電のおそれがあるので、濡れた手で電源プラグに触れないでください。
- 4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。**
- ・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、電源プラグを抜くために引っ張ったりしないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のあるところや動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、からまったりして感電するおそれがあります。
- 5. 屋外で使用する場合、屋外使用に適した延長コードを使用してください。**
- ・ キャブタイヤケーブルの延長コードを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
- ③ 作業者に関する安全事項**
- 1. 油断しないで十分注意して作業してください。**
- ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意し、常識を働かせて慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいたりする場合は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
- 2. 安全保護具を使用してください。**
- ・ 作業時は、常に保護めがねを使用し、必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴、ヘルメット、耳栓（イヤマフ）等を着用することで、傷害事故が低減されます。
- 3. 不意な始動は避けてください。**
- ・ 電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ スイッチに指をかけて運んだり、スイッチがオンになった電動工具の電源プラグを電源コンセントにさし込んだりすると事故の原因になります。
- 4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチ等は、必ず取り外してください。**
- ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチ等が回転して傷害のおそれがあります。
- 5. 無理な姿勢で作業をしないでください。**
- ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つことで、予期しない状況でも適切に操作することができます。

- ・ 材料を動かして加工する製品を除き、クランプや万力等を利用して材料をしっかり固定して加工してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

6. きちんとした服装で作業してください。

- ・ 回転部に巻込まれるおそれがあるので、だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は着用せず、髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- ・ 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
- ・ 屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。

7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ・ 集じん装置を使用することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

④ 電動工具の使用と手入れ

1. 無理して使用せず作業に合った電動工具を使用してください。

- ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
- ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。

2. スイッチに異常がないか点検してください。

- ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。ご使用前にお買い上げの販売店または(株)モトユキに修理を依頼してください。

3. 意図しない電動工具の始動を防ぐために、次の場合はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電動工具の調整や刃物、砥石、ビット等の付属品を交換する場合
- ・ 保管、または修理する場合
- ・ その他危険が予想される場合

4. 使用しない電動工具は、乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。また、電動工具の操作に不慣れな方には電動工具を使用させないでください。

- ・ 不慣れな方のご使用は危険です。

5. 電動工具の保守点検をしてください。

- ・ 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 保守点検が不十分な場合、事故の原因になります。
- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従って

ください。

- ・取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店または(株)モトユキに修理を依頼してください。
- ・スイッチで始動、及び停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ・スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店または(株)モトユキに修理を依頼してください。
- ・電源コードは定期的に点検し、損傷している場合はお買い上げの販売店または(株)モトユキに修理を依頼してください。
- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリス等が付かないようにしてください。
- ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。

- ・先端工具は適切な状態で使用すると、円滑な作業と容易な操作ができます。

7. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせて、それらの取扱説明書に従ってご使用ください。

- ・指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。

8. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

⑤ 整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。

- ・本機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い上げの販売店、または(株)モトユキに依頼してください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがのおそれがあります。

⑥ 騒音について

- ・ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等の条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設ける等してください。

☐ 二重絶縁について

本機は二重絶縁をしており、感電に対して安全性が高められています。

銘板に二重絶縁を表す ☐ マークを表示しています。異なった部品と交換したり、間違っ
て組み立てたりすると、二重絶縁構造ではなくなります。

電気系統の分解、組立や部品交換・修理はお買い求めの販売店、または㈱モトユキにご
用命ください。

⚠ 警告

⑦ ローラー砥石について

すべきこと

1. 付属の砥石は、直射日光をさけ、湿気のない場所で保管すること。
2. 機械へ取り付ける前に、ゴムコンタクトのひび・われ・かけなどの外観検査をす
ること。
3. その日の作業開始前に1分間以上、砥石を取り替えたときは3分間以上の試
運転をすること。
4. 作業中は、保護メガネ・防じんマスク・耳せん・手袋などの保護具を着用する
こと。
5. 火花の飛散をしゃへい板などで防止すること。
6. 呼吸器疾患を防止するために、粉じんの発散防止と十分な換気をすること。

してはいけないこと

1. 落したり、ぶつけた砥石や油ぬれのある砥石、検査で異常があったりした砥
石は使用しないこと。
2. 砥石を無理に加工物に押しつけないこと。
3. 回転中の砥石には直接身体を触れないこと。
4. 試運転時には、砥石の回転方向の前には立たないこと。
5. 砥石の回転が完全に止まらないうちに、ローラーサンダーを台・床・加工物な
どの上に置かないこと。
6. 引火・爆発の恐れのある場所では研削作業をしないこと。
7. 火花の飛ぶ範囲以内には立ち入らないこと。
8. 安全教育を受けていない方は、砥石の取り替え・試運転をしないこと。

仕様・付属品・用途

●仕様

品番	GMC-HR-GT1A
電源	単相・交流 100V 50/60Hz
定格電流	7.6 A
消費電力	735 W
無負荷回転速度	4,400 min ⁻¹
取付ローラー砥石寸法(外径×幅)	95x50 mm
本体寸法(全長×全幅×全高)	390x120x170 mm
コード長さ	2.5 m
質量	4.1 kg

●付属品

- ・ローラー砥石(品番:GGW-WT30-95)… 1本
- ・六角レンチ 6.0mm… 1本

●用途

鋼板・形鋼材の黒皮除去 / 塗装・錆・メッキ等の除去

●別売り部品

名称(品番)	用途
ローラー砥石(GGW-WT30-95)	強固な黒皮・メッキ・錆・塗装の除去

ご使用前の準備

●作業場に関して

- ・作業場は整頓をし、明るくしてご使用ください。

●漏電遮断器について

- ・ご使用前に、本機が接続される電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準等に規定された感電防止用漏電遮断装置(漏電遮断器)が設置されていることを確認してください。

使用方法

●ローラー砥石の装着

- 1) 電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 2) 回転軸の穴にドライバーなどの丸棒を挿入してください。
- 3) 六角レンチでコンタクトネジをゆるめてください。

注意:コンタクトネジは逆ネジ(左ネジ)です。時計回りでゆるみます。

- 4) ローラー砥石をゴムコンタクトに挿入し、コンタクトネジを締め、しっかりと固定してください。



●スイッチの操作

- 1) スイッチを「ON」に倒すと始動し、「OFF」に倒すと停止します。

●研磨作業

- 1) 必ず周囲に人がいないことを確認し試運転を行い、異常音や異常振動がないことを確認して下さい。
- 2) 研磨時には無理な力または衝撃を与えないで下さい。

【注意】

十分にローラー砥石の回転が上がってから作業を始めてください。ローラー砥石を被削材に当てたまま起動させると、ワークの平面を損なうばかりでなく、タイミングベルトの破断の原因にもなります。

- 3) 研磨作業時は火花を発生します。引火物や燃えやすいものがあるところでは、使用しないでください。
- 4) 使用後は、スイッチを「OFF」にし、ローラー砥石の回転が止まってから本体を置いてください。

保守と点検

●各部取り付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は、締直してください。

●使用後の手入れ

- ・機械各部の汚れを取除き使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体を拭いてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

●作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。
- ・お子さまの手の届く範囲や、落下のおそれがあるところは避けてください。

●修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店または(株)モトユキにご用命ください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問等、遠慮なくお問い合わせください

お客様
相談窓口



0120-278-423



株式会社 **モトユキ**

本社 〒590-0982 大阪府堺市堺区海山町5丁187-1
TEL(072)227-8420(代) FAX(072)227-6321
営業所 北海道・仙台・東京・神奈川・名古屋・大阪・広島・福岡

※改良のため、お断りなく仕様・外観等を変更することがあります。

GMC-HR-GT1A(T-MO-1)